

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 23 年第 2 回日本核医学会理事会
議事録

日 時：平成 23 年 5 月 6 日 (金)

14 時 00 分 ~ 18 時 00 分

場 所：大阪国際交流センター 会議室 1

出席者：

理事長：玉木長良

理 事：油野民雄，荒野 泰，伊藤健吾，
井上登美夫，尾川浩一，絹谷清剛，
汲田伸一郎，桑原康雄，小泉 潔，
佐々木雅之，宍戸文男，千田道雄，
竹田 寛，中川原譲二，西山佳宏，
畑澤 順，本田憲業，望月輝一

監 事：小須田茂，阪原晴海

幹事長：志賀 哲

事務局：神田正子

欠席者：

理 事：山崎純一 (敬称略)

議題

I. 審議事項

1. 平成 23 年度評議員選挙結果報告・推薦評議員の推薦 (1)(玉木長良理事長)
資料 1 に従い選挙結果につき玉木長良理事長から報告があり，承認された。引き続き推薦評議員の推薦にうつり，21 名が決定した。
2. アジア研究奨励賞について (2)(桑原康雄理事)
資料 2 に従い桑原康雄理事から報告があり，2 名が承認された。
3. 久田賞について (3)(絹谷清剛理事)
絹谷清剛理事から資料 3 に従い説明があり承

認された。

4. 東日本大震災への学会支援について

(玉木長良理事長)

玉木長良理事長より東日本大震災への学会支援に関してどのようにしたらよいかとの提案があり，「放射線被ばくに関連したものに使っていた方がよいのではないか？」「核医学検査にどのような影響があったか／あるのかを調査をするようなところにもお金を使っていたきたい」などの意見が出された。宍戸文男理事より「いろいろな人に福島にきていただいている。そのバックアップをしていただきたい」との要望があり，被ばく医療にかかわるボランティアの時の交通費等を学会で支援することが承認された。また，義援金として集めているのは日本赤十字社に寄付することとなった。

米国核医学会から日本核医学会を通して日赤に寄付をしたいとの申し出があり米国核医学会に感謝状を渡すことにつき玉木長良理事長より説明があり了承された。

5. 賛助会員のメンバーズベネフィット(特典)について (4)(小泉潔理事)

小泉潔理事から資料 4 に従い説明があり，特典事項・定款細則変更案が承認された。

6. その他

井上登美夫理事より福島原発のオフサイトセンターの医療班のリーダーから「一時立ち入り者の服装」につき日本救急学会等との共同のステートメントを出してもよいかとの提案があり，メール会議で今後議論することとなった。

II. 報告事項

1. 第 51 回学術総会準備状況報告

(小須田茂会長)

小須田茂会長より資料 (No なし) に従い説明があった。一般演題の応募をお願いしたいとのことであった。

2. 第 52 回学術総会準備状況報告

(5)(玉木長良次期会長)

玉木長良次期会長より資料 5 に従い説明があった。

3. 第 53 回学術総会準備状況報告

(桑原康雄次々期会長)

桑原康雄次々期会長より平成 25 年 11 月 8 日～10 日福岡国際会議場において、日本核医学技術学会大会長は九州大学の大屋信義先生との報告があった。

4. 第 11 回春季大会実施状況報告

(6)(玉木長良大会長)

玉木長良理事長より資料 6 につき説明があった。特別セミナーのビデオについては今後会員専用のページでみられるようにすることになっているとの報告があった。

5. 会計報告 (7)(油野民雄理事)

油野民雄理事から資料 7 に従い報告があった。

6. 幹事会 (8)(志賀哲幹事長)

志賀哲幹事長より資料 8 に従い説明があった。日本核医学会の会員数を増やす種々の意見が出された。

7. 委員会報告

1) 編集委員会 (3)(絹谷清剛理事)

絹谷清剛理事より資料 3 に従い報告があった。雑誌の長期デジタルデータ保存に関しては国外だけではなく国内でしているところがあれば、そちらにも出したらどうかとの意見があった。国内の保存先については引き続き検討することとなった。Frequently Cited papers に関しては承認された。

2) 教育・専門医審査委員会

(9)(汲田伸一郎理事)

汲田伸一郎理事より資料 9 に従い報告があった。

3) PET 核医学委員会 (10)(千田道雄理事)

千田道雄理事より資料 10 に従い報告があった。

4) 健保委員会 (11)(伊藤健吾理事)

伊藤健吾理事より資料 11 に従い報告があった。

5) 広報委員会 (12)(尾川浩一理事)

尾川浩一理事より資料 12 に従い報告があった。

「総会の演題に関しては現在 2 年後には見られなくなってしまうので、引き続き閲覧できるようにするために学会のホームページに入れてはどうか」との提案があり、「総会のホームページの分を核医学会で作成する方法」「出来上がったプログラムを学会のホームページに掲載する方法」のどちらがよいか等の意見が出され継続審議となった。

6) リスクマネジメント委員会

(望月輝一理事)

望月輝一理事より福島の問題は当委員会では扱いきれないので全体で考えていただきたいと発言があった。

7) 放射線防護委員会 (本田憲業理事)

本田憲業理事よりボランティアの被ばくに関して検討中と報告があった。

8) 倫理検討委員会 (竹田寛理事)

竹田寛理事より特に大きな問題はないとの報告があった。

9) 学会賞選考委員会 (2)(桑原康雄理事)

桑原康雄理事より資料 2 に従い報告があった。

10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (17)(荒野泰理事)

荒野泰理事より資料 17 に従い報告があった。

- 11) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会
(17)(荒野泰理事)
荒野泰理事より資料 17 に従い報告があった。将来的には核医学認定薬剤師を作る方向で進んでいるとの報告があった。「放射性医薬品管理者は薬剤師，調整担当者は放射性医薬品管理者が指名する。調整担当者は薬剤師としていただきたい。医師の場合はこの規定を受けないが，この講習はなるべく受けてほしい。」との説明があった。
- 12) 将来計画委員会 (畑澤順理事)
畑澤順理事より幹事会の方から提案されたことをふまえて継続していきたいとの説明があった。
- 13) 分子イメージング戦略会議
(13)(井上登美夫理事)
井上登美夫理事より資料 13 に従い報告があった。
- 14) PET 用サイクロトロンに関するクリアランスおよび放射化物質の取り扱いに関する小委員会 (千田道雄理事)
千田道雄理事より資料 10-2 に従い報告があった。
- 15) 選挙管理委員会 (1)(玉木長良理事長)
玉木長良理事長より資料 1 に従い報告があった。
8. ワーキンググループ
(油野民雄理事，千田道雄理事)
特に報告することはないとの報告があった。
9. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
(14)(絹谷清剛理事)
絹谷清剛理事より資料 14 に従い報告があった。
- 2) 日本脳神経核医学研究会 (畑澤順理事)
畑澤順理事より日本核医学会学術総会に
- 会わせて講演会を行い，細田先生が認知症の核医学を企画しているとの報告があった。
- 3) 日本心臓核医学会 (玉木長良理事長)
玉木長良理事長よりジョイントセミナーを学術総会の時に行うこと，地域別の研修会も行っていることが報告された。
- 4) 呼吸器核医学研究会 (竹田寛理事)
小須田茂理事より COPD のパンフレットを作成したとの報告があった。
- 5) PET 核医学分科会 (15)(千田道雄理事)
千田道雄理事より資料 15 に従い報告があった。FDG-PET 癌検診ガイドラインの改訂につき承認された。春季大会期間中の 5 月 7 日の昼に，地震の被害にあったサイクロトロンについての講演会があるとの報告があった。
10. 国外学会等連携
(桑原康雄理事，油野民雄理事，畑澤順理事)
- 1) 世界核医学会
- 2) 米国核医学会
- 3) アジアオセアニア核医学会
(ARCCNM 兼務)
11 月末にベトナムであることが報告された。
- 4) 日韓中核医学会
学術総会で合同開催されること，2 年後に韓国で開催されることが報告された。
11. その他
井上登美夫理事よりモリブデンの国内生産に関する検討会は震災で会議がキャンセルとなっているとの報告があった。
- III. 確認事項
1. 前回議事録(案) (16)